

組合員の声をきっかけに早10年

うなぎをこれからも 守り続けます

「大隅うなぎ資源回復協議会」は今年で設立10周年。その始まりは、ニホンウナギが絶滅危惧種に指定された2013年です。組合員から「絶滅危惧種のうなぎを食べてよいのか」という疑問の声が上がったことをきっかけに、うなぎを守る取り組みがスタートしました。今回はこの10年間のさまざまな活動をご紹介します。うなぎを未来につないでいくために、これからも取り組みを続けていきます。

1 うなぎがくらしやすい “マイホーム”づくり

海と川を行き来するうなぎ。コンクリートで固められた川底や岸では、うなぎが鳥などの捕食者から隠れる場所がなく、堰や段差などで移動することも困難に。これを改善するために始まったのが、「石倉かご」や「魚道」を使ったうなぎがすみやすい川づくり。2013年度から水産庁の事業にも採択され、全国に広がっています。



石倉かご 樹脂製の網で作ったかごに石を詰めたもの。すき間にうなぎが身を潜められるほか、エサとなるえびやかにもすみつきます。

魚道(ぎょどう) 「石倉かご」同様に、網で作った筒の中に石を詰めたもの。段差をまたぐように設置すると、うなぎをはじめとする生きものたちが、筒の中を通過して段を越えることができます。

2 みんなに伝えたい! うなぎの「今」

うなぎの資源を守りながら食文化として継承するためには、関心をもってもらうことが大切。「産地へ行こう。」ツアーや学習会などを実施し、組合員が理解を深める機会を作っています。



「産地へ行こう。」ツアーのようす

うなぎの生態理解につなげようと、オリジナルてぬぐい(非売品)を作成。

3 どこから来てどこへ行く? うなぎの育ち方を調査

効果的な放流方法を見つけるため、「放流モニタリング」を実施しています。さまざまな環境で育ったうなぎを放流し、追跡調査することで、どのような個体が放流に適しているかを追究しています。



放流前に個体識別タグを埋め込む。

再捕獲し、生存状況や成長のようすを確認。

4 大きく育てて 食べる部分を増やす

1尾当たりの可食部を増やすことで、資源を有効活用。このうなぎを原料にした「大隅産うなぎ蒲焼カット 2枚120g」の出荷は、2014年の2万パックから2022年には12万パックに。



大きく育てたうなぎ (1尾約 330g)



通常サイズのうなぎ (1尾約 250g)

5 “身元のはっきりした” 稚魚から育てる

うなぎ資源を守るために、流通の透明化や産地の明確化を目的として、2018年に「日本シラスウナギ取扱者協議会」が発足。大隅漁協も加盟し、産地が証明された稚魚から育てています。



シラスウナギ取扱証明書

ポイント応援が 活動の支えになっています。

2013年7月から2023年5月まで、延べ約11万人がポイント募金に協力してくれました。

注文用紙に6桁の注文番号と口数を記入してください。

190969 1口=100ポイント

※詳しくは同時配付のポイント交換チラシをご確認ください。

10年の取り組みを、産地の声でふり返ります。パルシステムのWebマガジン「KOKOCARA」へ



「カタログ」に掲載されているマークについて
■ 遺伝子組換え表示 遺伝子組換え対象作物を使用していない商品および青果・酒には表示しません。
■ GMOにNO! (食品) 生産・流通・製造段階において遺伝子組換え原料を排除した商品。主原料および副原料いずれかで遺伝子組換えの混入を防ぐため、分別生産流通管理している商品。
■ GMOにNO! (飼料) 牛乳、鶏卵、鶏肉等の飼料において遺伝子組換え作物の混入を防ぐため分別生産流通管理している商品。
■ 副原料 分別 原料のなかで水を除く、構成比が5%以上のものは対象外の原料を使用しているが、5%未満の原料に分別の原料が使われている。
■ 不分別 原料のなかで水を除く、構成比が5%以上のものに、不分別の原料が使われている。原料のなかで水を除き、構成比が5%以上を主原料、5%未満を副原料とします。

■ パルシステムの取り組みを表示
pal パルシステムが独自開発したオリジナル商品
生産 産直の精肉および100%提携産地の水産品
リユース・リサイクルするもの(紙パック・びん類・野菜の通い箱等)
容器包装や付属(ストローなど)のプラスチック削減に取り組んだ商品

■ アレルゲンの表示
アレルギーのある方は、商品包材の表示を必ずご確認ください。
表示品目 卵 乳 小麦 そば 落花生 えび かに 大豆
表示方法 卵 乳 麦 そ 落 え か 豆
青果・米・卵・酒・非食品を除くすべての商品のうち、原材料に特定原材料7品目と大豆が含まれている商品には、その品目名を略称で表示しています。
※大豆を除く特定原材料に準ずる20品目については、表示していません。
※コンタミネーション表示については、特定原材料7品目と大豆、かつ製造者から情報提供をいただいた商品のみ表示となっています。(乳)(卵)のように()で表示しています。

配達・利用についてのお問い合わせ
■ 配達、交換、返品、請求関係、休止、住所変更など
まずはヘルプ情報サイトへ
24時間チャットで対応しています
パルシステム ヘルプ 検索
電話でのお問い合わせが必要な場合はこちらへ。通話料は無料です。
0120-868-014 月～金曜日:9時～20時 土曜日:9時～17時
※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

商品についてのお問い合わせ
■ 原材料、賞味期間、使い方、レシピ など
【商品情報ダイヤル】
0570-011-099 月～金曜日:10時～17時
お問い合わせをいただいた際、お名前、組合員番号、電話番号を伺います。
※ナビダイヤルは有料です。パルシステムの配達エリアからは固定電話の場合、一律1分10円+消費税をご利用いただけます。携帯電話の場合は、ご本人の利用プランにより料金が異なります。

その他のお問い合わせ ※通話料は無料です。
■ 欠品情報自動お知らせダイヤル
0120-829-804 (受付時間:注文用紙提出日翌日18時～商品配達日前日)
※欠品情報案内後にあらたに欠品が発生する場合があります。
■ CO・OP共済 コープ共済センター 各種保険 共済連保険事務センター
0120-50-9431 月～土曜日:9時～18時 0120-201-342 月～金曜日:9時～17時30分
■ カタログ「Caica(かいか)」チケット、雑誌年間購読、教材、国内旅行など
■ カタログ「スクエア住まいとくらし」新築・リフォーム、太陽光発電、シロアリ防駆除、エアコンクリーニングなど住まいとくらしのサービス
サービス事業課 0120-114-312 月～金曜日:10時～17時

組合員の声をきっかけに早10年

うなぎをこれからも 守り続けます

「大隅うなぎ資源回復協議会」は今年で設立10周年。その始まりは、ニホンウナギが絶滅危惧種に指定された2013年です。組合員から「絶滅危惧種のうなぎを食べてよいのか」という疑問の声が上がったことをきっかけに、うなぎを守る取り組みがスタートしました。今回はこの10年間のさまざまな活動をご紹介します。うなぎを未来につないでいくために、これからも取り組みを続けていきます。

topic 1 うなぎがくらしやすい “マイホーム”づくり

海と川を行き来するうなぎ。コンクリートで固められた川底や岸では、うなぎが鳥などの捕食者から隠れる場所がなく、堰や段差などで移動することも困難に。これを改善するために始まったのが、「石倉かご」や「魚道」を使ったうなぎがすみやすい川づくり。2013年度から水産庁の事業にも採択され、全国に広がっています。



石倉かご 樹脂製の網で作ったかごに石を詰めたもの。すき間にうなぎが身を潜められるほか、エサとなるえびやかにもすみつきます。

魚道(ぎょどう) 「石倉かご」同様に、網で作った筒の中に石を詰めたもの。段差をまたぐように設置すると、うなぎをはじめとする生きものたちが、筒の中を通過して段を越えることができます。

topic 3 どこから来てどこへ行く? うなぎの育ち方を調査

効果的な放流方法を見つけるため、「放流モニタリング」を実施しています。さまざまな環境で育ったうなぎを放流し、追跡調査することで、どのような個体が放流に適しているかを追究しています。



放流前に個体識別タグを埋め込む。

再捕獲し、生存状況や成長のようすを確認。

topic 2 みんなに伝えたい! うなぎの「今」

うなぎの資源を守りながら食文化として継承するためには、関心をもってもらうことが大切。「産地へ行こう。」ツアーや学習会などを実施し、組合員が理解を深める機会を作っています。



「産地へ行こう。」ツアーのようす

うなぎの生態理解につなげようと、オリジナルてぬぐい(非売品)を作成。

topic 4 大きく育てて 食べる部分を増やす

1尾当たりの可食部を増やすことで、資源を有効活用。このうなぎを原料にした「大隅産うなぎ蒲焼カット 2枚120g」の出荷は、2014年の2万パックから2022年には12万パックに。



大きく育てたうなぎ (1尾約 330g)



通常サイズのうなぎ (1尾約 250g)

topic 5 “身元のはっきりした” 稚魚から育てる

うなぎ資源を守るために、流通の透明化や産地の明確化を目的として、2018年に「日本シラスウナギ取扱者協議会」が発足。大隅漁協も加盟し、産地が証明された稚魚から育てています。



シラスウナギ取扱証明書

ポイント応援が 活動の支えになっています。

2013年7月から2023年5月まで、延べ約11万人がポイント募金に協力してくれました。

注文用紙に6桁の注文番号と口数を記入してください。

190969 1口=100ポイント

※詳しくは同時配付のポイント交換チラシをご確認ください。

10年の取り組みを、産地の声でふり返ります。パルシステムのWebマガジン「KOKOCARA」へ



「カタログ」に掲載されているマークについて
■ 遺伝子組換え表示 遺伝子組換え対象作物を使用していない商品および青果・酒には表示しません。
■ GMOにNO! (食品) 生産・流通・製造段階において遺伝子組換え原料を排除した商品。主原料および副原料いずれかで遺伝子組換えの混入を防ぐため、分別生産流通管理している商品。
■ GMOにNO! (飼料) 牛乳、鶏卵、鶏肉等の飼料において遺伝子組換え作物の混入を防ぐため分別生産流通管理している商品。
■ 副原料 分別 原料のなかで水を除く、構成比が5%以上のものは対象外の原料を使用しているが、5%未満の原料に分別の原料が使われている。
■ 不分別 原料のなかで水を除く、構成比が5%以上のものに、不分別の原料が使われている。原料のなかで水を除き、構成比が5%以上を主原料、5%未満を副原料とします。

■ パルシステムの取り組みを表示
pal パルシステムが独自開発したオリジナル商品
組合員開発 組合員による商品開発チームなどが、商品開発に協力した商品
産直 産直の精肉および100%提携産地の水産品
産直原料 主原料で、かつ当該商品を製造するうえで不可欠な原料に産直品を使用しており、かつその原料が100%産直品の加工品
リユース・リサイクルするもの(紙バック・びん類・野菜の通い箱等)
容器包装や付属(ストローなど)のプラスチック削減に取り組んだ商品

■ アレルゲンの表示
アレルギーのある方は、商品包材の表示を必ずご確認ください。
表示品目 卵 乳 小麦 そば 落花生 えび かに 大豆
表示方法 卵 乳 麦 そ 落 え か 豆
青果・米・卵・酒・非食品を除くすべての商品のうち、原材料に特定原材料7品目と大豆が含まれている商品には、その品目名を略称で表示しています。
※大豆を除く特定原材料に準ずる20品目については、表示していません。
※コンタミネーション表示については、特定原材料7品目と大豆、かつ製造者から情報提供をいただいた商品のみ表示となっています。(乳)(卵)のように()で表示しています。

配達・利用についてのお問い合わせ
■ 配達、交換、返品、請求関係、休止、住所変更など
まずはヘルプ情報サイトへ
24時間チャットで対応しています
パルシステム ヘルプ 検索
よくある質問
FAQ、問い合わせフォーム
などもこちらから

商品についてのお問い合わせ
■ 原材料、賞味期間、使い方、レシピ など
【商品情報ダイヤル】
0570-011-099
月～金曜日:10時～17時
お問い合わせをいただいた際、お名前、組合員番号、電話番号を伺います。
※ナビダイヤルは有料です。パルシステムの配達エリアからは固定電話の場合、一律1分10円+消費税でご利用いただけます。携帯電話の場合は、ご本人の利用プランにより料金が異なります。

その他のお問い合わせ ※通話料は無料です。
■ 欠品情報自動お知らせダイヤル
0120-829-804 (受付時間:注文用紙提出日翌日18時～商品配達日前日)
※欠品情報案内後にあらたに欠品が発生する場合があります。
■ CO・OP共済 コープ共済センター 各種保険 共済連保険事務センター
0120-50-9431 月～土曜日:9時～18時
0120-201-342 月～金曜日:9時～17時30分

電話でのお問い合わせが必要な場合はこちらへ。通話料は無料です。
0120-868-014 月～金曜日:9時～20時 土曜日:9時～17時
※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。